



報道関係各位

2026.07
嵯峨嵐山文華館



企画展：絵で知る、もっと楽しむ京都

誰もが知る名所から芸舞妓、京野菜、和菓子まで——絵画で巡る「千年の都」

千年以上の歴史を誇り、訪れる人々を惹きつけてやまない観光都市・京都。なかでも風光明媚な場所として知られる嵐山の地で、その多彩な魅力を近世から近代にかけての日本画を通じて紹介する展覧会です。

《洛中洛外図屏風》（前期展示）や《洛外図屏風》（後期展示）、原在中【はらざいちゅう】（1750－1837）の《葵祭之図》（上巻：前期展示 下巻：後期展示）など、今日でも親しまれている京の名所や行事、伝統文化を描いた作品を展示します。

鴨川、嵐山、金閣寺といった京都の名所絵をはじめ、祇園祭で神の使いとして重要な役割を担う「稚児」の姿や、牛若丸と弁慶など京都ゆかりの歴史上の人物を描いた作品まで、初公開作品は計12件にのぼります。さらに、本展では、芸妓・舞妓や京野菜など、京都ならではの画題を扱った作品も登場します。また、京都と言えば、和菓子の老舗が軒を連ねる街です。畳ギャラリーでは、富岡鉄斎【とみおかてっさい】（1836－1924）や池田遙邨【いけだようそん】（1895－1988）らが意匠を凝らした和菓子の包装紙もあわせて展示します。

京都をよく知る方から初めて訪れる方まで、本展を通してまだ見ぬ京都の魅力を発見し「京都を絵で知り、もっと楽しむ」機会となることを願います。

会期：2026年10月3日（土）－2027年2月28日（日）

前期：10月3日（土）－12月14日（日） 後期：12月16日（水）－2027年2月28日（日）

【主催】 嵯峨嵐山文華館
【後援】 京都府、京都市、京都市教育委員会、京都商工会議所
【会場】 嵯峨嵐山文華館

【作品件数】
前期：25件
後期：22件
通期：15件
総新出作品点数：12件

第1章 絵で巡る京の名所

名品続々！馴染み深い京都の情景を絵で楽しむ

(左隻)



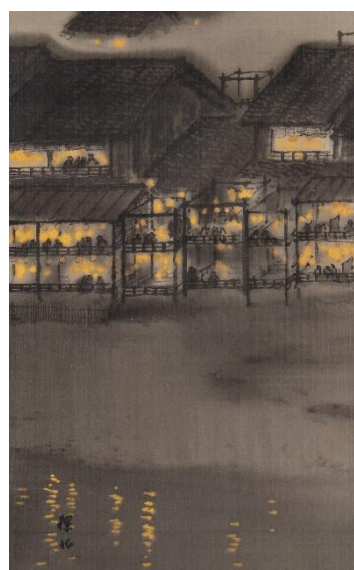
(右隻)



作者不明 《洛中洛外図屏風》（部分）17世紀 福田美術館蔵 前期展示

本章では、当館が位置する嵐山をはじめ、京都の美しい景色を描いた作品を紹介します。前期展示では、いわゆる「清水の舞台」で有名な清水寺や、朱塗りの鳥居が映える伏見稲荷大社、夏の風物詩・鴨川の納涼床、さらには日本三景のひとつ・天橋立の絶景を臨むことができます。また、今と変わらぬ山鉦が巡行する祇園祭の様子や、後水尾天皇が二条城へ赴いた際の大行列を描いた江戸時代の《洛中洛外図屏風》も必見です。**京都生まれの画家・平井樸仙【ひらいばいせん】（1889-1969）による《鴨川涼風》は、京都の夏の風物詩である店外席「川床（ゆか）」を情緒豊かに描いた当館初公開の作品**です。

後期展示でも、華やかな祇園の夜桜、古くから信仰を集める霊峰・比叡山に加え、瑞々しい新緑に包まれた金閣寺など、名所や歴史ある寺社の数々を巡ります。郊外の名所を八曲一双のダイナミックなスケールで描いた《洛外図屏風》もあわせて展示します。時間や距離を気にせず、様々な名所を観ることができるのが絵画ならではの醍醐味です。季節の移ろいを感じながら、絵画で巡る京都散策の時間を楽しんでいただけます。



平井樸仙《鴨川涼風》（部分）
20世紀 福田美術館蔵
前期展示 ※初公開

第2章 絵と工芸で親しむ京の伝統文化

京都ならではの行事や伝統文化から、暮らしに息づく美の形を知る

京都の魅力は、美しい風景だけではありません。脈々と受け継がれてきた祭礼や文化、日々の暮らしもまた、多くの画家たちを魅了してきました。本章では、京都ならではの行事や伝統文化にちなんだ作品を紹介します。

江戸時代に活躍した**原在中**による《葵祭之図》は、上下2巻からなり、それぞれの長さが**10メートルを超える大作です**。御所から上賀茂神社へ向かう人々の、生き生きとした表情や仕草が見どころです。※前期は上巻、後期は下巻（各部分）を展示します。



原在中 《葵祭之図》 下巻（部分） 1832年 福田美術館蔵 後期展示



栗原玉葉 《タベ》（部分） 20世紀
福田美術館蔵 後期展示



竹内栖鳳 《魚菜一荷》（部分）
1922年 福田美術館蔵 後期展示



徳岡神泉 《筍》（部分） 1940年 福田美術館蔵 後期展示

さらに、京都と言えは思い浮かぶ艶やかな芸舞妓や、豊かな食文化を支えてきた京野菜などを描いた日本画の数々を展示します。また、**山元春挙【やまもとしゅんきょ】（1872-1933）による風景画をもとに、刺繍で縫い表した初公開作品《富士・白糸の滝図刺繍屏風》も見どころ**です。京都を中心に盛んに制作されていた海外輸出用の作品と考えられ、日本画界が工芸と深くかかわりを持っていたことを示す貴重な作例と言えます。

絵画と工芸が織りなす華やかな世界が畳のギャラリーいっぱいに広がります。

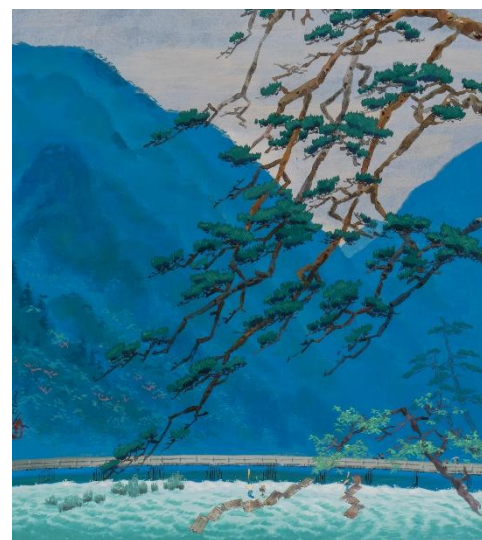
第3章 京の和菓子店と画家

和菓子のパッケージデザインと絵画を見比べるユニークな展示

四季折々の風情を取り入れた京の和菓子。その繊細な美しさは、菓子を彩るパッケージのデザインにも息づいています。

和菓子の包みに掛け紙などの包装紙が使われるようになった近代以降、京都を拠点に活躍した画家たちは、その図案にも趣向を凝らすようになりました。そこには単なる仕事の枠を超えた、店主と画家の「粋な交遊」が窺えます。

本章では、今なお愛され続ける和菓子店の包装紙や紙袋、一部原画をも展示します。あわせて、その意匠を手がけた富岡鉄斎、池田遙邨、徳岡神泉【とくおかしんせん】（1896-1972）など6名の画家による日本画も展示します。パッケージのデザインと絵画を見比べることで、それぞれの画家のセンスがより味わい深く感じられることでしょう。



池田遙邨 《嵐山薫風》（部分）
20世紀 福田美術館蔵 通期展示

【会期中のイベント①】

2026年11月7日（土）13:30-14:30

講演会「京都の散歩が10倍楽しくなる！
～いけず石、通り名のお話～」

講師：杉村啓（いけず石愛好家、醤油・グルメ漫画研究家）

【会期中のイベント②】

2026年12月5日（土）13:30-14:30

講演会「百人一首には本歌取りが多い」
講師：吉海直人（同志社女子大学名誉教授）

【会期中のイベント③】

2027年2月21日（日）

小倉百人一首競技かるた
第8回ちはやふる小倉山杯（予定）

プレス用画像一覧_1

※広報画像は以下の申請フォームよりダウンロードいただけます。

<https://tayori.com/f/edeshirukyoto/>

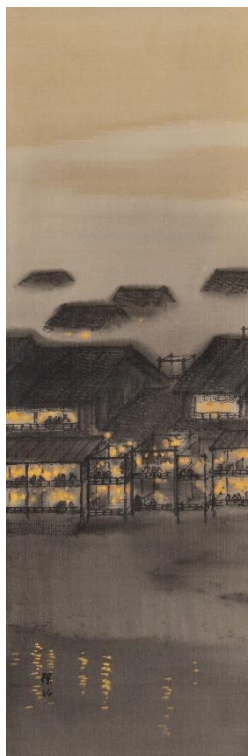
※トリミング可。その場合キャプションに（部分）と表記



作者不明 《洛中洛外図屏風》（左隻）17世紀 福田美術館蔵 前期展示



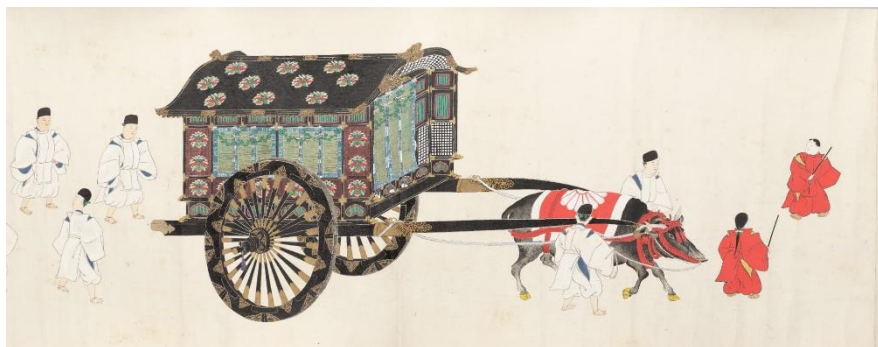
作者不明 《洛中洛外図屏風》（右隻）17世紀 福田美術館蔵 前期展示



平井樸仙 《鴨川涼風》
20世紀 福田美術館蔵
前期展示 ※初公開



上村松園 《二軒茶や図》
1936年頃 福田美術館蔵
前期展示



原在中 《葵祭之図》（部分）上巻 1832年 福田美術館蔵 前期展示



原在中 《葵祭之図》（部分）下巻 1832年 福田美術館蔵 後期展示



川村曼舟 《稻荷山図》
20世紀 福田美術館蔵
前期展示 ※初公開



松村梅叟 《花うり》
20世紀 福田美術館蔵
前期展示

プレス用画像一覧_2

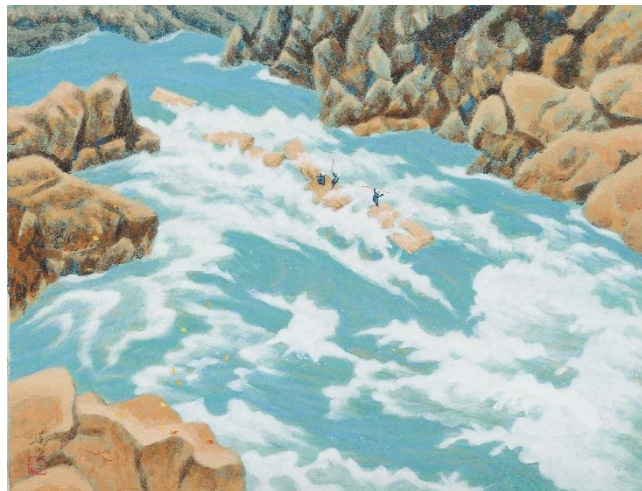
※広報画像は以下の申請フォームよりダウンロードいただけます。

<https://tayori.com/f/edeshirukyoto/>

※トリミング可。その場合キャプションに（部分）と表記



徳岡神泉 《筍》 1940年 福田美術館蔵 後期展示



池田遙邨 《保津峡》 20世紀 福田美術館蔵 通期展示



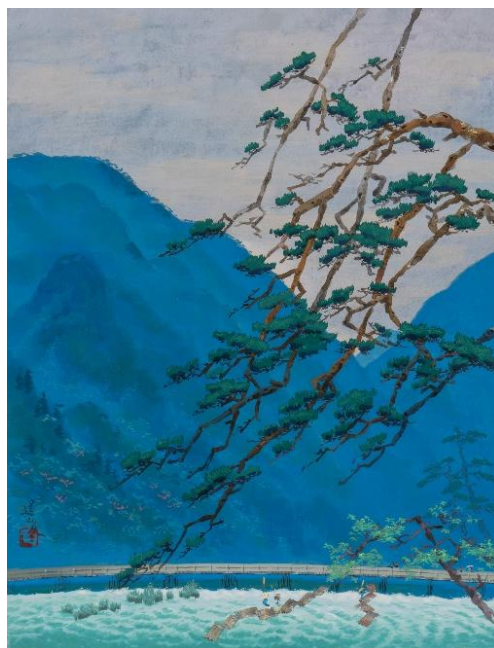
栗原玉葉 《タベ》
20世紀 福田美術館蔵
後期展示



岸竹堂 《大船鉦図》
19世紀 福田美術館蔵
前期展示



原画：山元春挙 《富士・白糸の滝図刺繍屏風》
19-20世紀 福田美術館蔵 通期展示
※初公開



池田遙邨 《嵐山薰風》 20世紀
福田美術館蔵 通期展示



竹内栖鳳 《魚菜一荷》
1922年 福田美術館蔵 後期展示

展覧会概要

■企画展名	絵で知る、もっと楽しむ京都										
■会 期	2026年10月3日（土）～2027年2月28日（日） 前期：10月3日（土）～12月14日（月） 後期：12月16日（水）～2027年2月28日（日）										
■開館時間	10:00～17:00（最終入館 16:30）										
■休 館	12月15日（火）、12月30日（水）～2027年1月1日（金）、1月19日（火）、2月9日（火）、2月21日（日）										
■主 催	※2/20(土)は14:00閉館（入館は13:30まで）										
■後 援	嵯峨嵐山文華館 京都府、京都市、京都市教育委員会、京都商工会議所										
■アクセス	〒616-8385 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11 JR山陰本線（嵯峨野線）「嵯峨嵐山駅」下車徒歩14分 阪急嵐山線「嵐山駅」下車徒歩13分 嵐電（京福電鉄）「嵐山駅」下車徒歩5分										
■料 金	<table><tr><th>一般・大学生</th><th>高校生</th><th>小・中学生</th><th>その他</th></tr><tr><td>1,000（900）円</td><td>600（500）円</td><td>400（350）円</td><td>* 障がい者と介添人1名まで各600（500）円 * 幼児無料 * （ ）内は20名以上の団体料金</td></tr></table> < 福田美術館との両館共通券 > 一般・大学生：2,300円／高校生：1,300円／小中学生：750円／障がい者と介添人1名まで：各1,300円			一般・大学生	高校生	小・中学生	その他	1,000（900）円	600（500）円	400（350）円	* 障がい者と介添人1名まで各600（500）円 * 幼児無料 * （ ）内は20名以上の団体料金
一般・大学生	高校生	小・中学生	その他								
1,000（900）円	600（500）円	400（350）円	* 障がい者と介添人1名まで各600（500）円 * 幼児無料 * （ ）内は20名以上の団体料金								

プレスリリース／広報用画像に関するお問合せ

嵯峨嵐山文華館広報事務局（共同ピーアール内）
担当：田中、折笠、広岡
TEL：03-6264-2045 Email：samac-pr@kyodo-pr.co.jp

一般の方からのお問合せ

TEL：075-882-1111（嵯峨嵐山文華館事務局）
お問い合わせフォーム：<https://www.samac.jp/contact>